

未来 ひだか

みらくる

日高農業改良普及センター



作物を問わず多くの農業者が参加

土づくり研修会の開催

令和4年は降雨が続き、一部で排水不良のほ場が見られ、排水対策が急務な状況にあることがわかりました。そこで、透排水性改善対策と土壌物理性改善を目指した緑肥の有効活用による土づくりについて、農業者や関係機関が情報交換を行うことを目的に、令和5年2月11日「土づくり研修会」（主催：日高中部地区農業改良連絡協議会）を開催し、46名が参加しました。

研修会では、近年の降雨による被害やほ場の維持管理の必要性、要因に応じた対策などが紹介され、参加者からは暗きょの施工方法や疎水材のコストなどの質問があがり、関心の高さが伺えました。また、緑肥導入では土壌物理性の向上や土壌病害対策、日高管内のハウス内栽培事例の説明があり、実践農業者から栽培に有益な情報提供がなされました。

今後も農業者の要望に応えながら、地力の維持や向上を推進するために土づくり研修会を継続していく予定です。



「令和4年の気象概況及び地域の土壌環境の現状」
日高農業改良普及センター
千田智子主査



「ほ場の透排水性改善に有効な対策」
(オンライン)
中央農業試験場
塚本康貴主査



「緑肥導入による土づくり」
雪印種苗株式会社
宮本拓磨氏

地域の活動事例を紹介します！

新ひだか町和牛センターで新たな取り組みはじまる

【本所 地域第1係】

新ひだか町和牛センターでは、旧三石町（現新ひだか町三石）の肉牛振興策の一環として平成2年から肥育に取り組んできました。繁殖から肥育までの一貫生産体制を進めるため、肥育技術確立に向けた飼料給与試験を積み重ね、町内へ啓蒙してきました。また、優良雌牛の保留や肉用牛経営安定化の支援など様々な役割を果たしています。

これまでの30年間の取り組みにより肉質は飛躍的に向上し、地域ブランド「みついし牛」は東京食肉市場で高い評価を得ています。しかし、肉質に比べ枝肉重量については物足りなさを感じており、肉質を維持しながら枝肉重量を大きくすることが課題となっています。

そこで、和牛センターと普及センターが協力し、畜産試験場の支援の下、飼養管理や給与メニューなどを見直して肥育試験に取り組むことになり、令和5年の夏から本格的に始まります。肥育は結果が出るまで時間がかかり、町内や近隣の農場へ波及するまで道りは長いですが、今後の「みついし牛」に大きな期待が寄せられています。



肥育牛舎で試験に向けて熱く語る三者



肥育中の「みついし牛」

浦河町4Hクラブ、冬季学習会を開催！

【本所 地域第2係】

浦河町4Hクラブでは、北海道競馬PRや浦河町産業祭り支援などの地域振興活動や学習活動・視察研修を行っています。

令和4年12月14日に、軽種馬振興会青年部と合同で、馬の繁殖管理についての学習会を開催しました。4Hクラブ員、軽種馬振興会青年部の方々を合わせ11名の方が参加しました。

学習会では、日高育成牧場生産育成研究室の村瀬晴崇様を講師として迎え、繁殖成績を向上させる6つのポイントについて講義を受けました。

【講義の内容】

- ①ライトコントロールについて
- ②栄養管理に関すること
- ③排卵促進剤について
- ④分娩後初回発情について
- ⑤早期胚死滅について
- ⑥自然分娩について



冬季学習会の様子

参加者の方からはたくさんの質問があり、充実した内容の学習会になりました。今後も4Hクラブでは、学習会のほか、地域に根差した活動を行っていきます。

地域の活動事例を紹介します！

重点懇談会の開催

【西部支所】

西部支所の重点対象地区である平取町紫雲古津の農業者と懇談会を開催しました。12月は、1年間の活動内容や実証展示ほの結果等を農業者と共有しました。

【主な内容 トマト】



- ◎トマトの収量向上に向けた活動
- ①環境モニタリング機器を活用し、ハウス内環境の見える化や温度管理等が改善した。
- ②摘葉によって収量が向上し、通気性が確保され病気の発生も低減した。
- ③緑肥の導入によって、土壌の物理性が改善され、作土層が確保された。

【主な内容 水稲】



- ◎水稲省力化に向けた活動
- ①高密度播種中苗栽培は収量は高いが整粒率が低い。育苗箱数が5箱/10a減った。
- ②ロング肥料育苗では、育苗追肥が削減された。一穂粒数や穂数の増加により粗玄米重が増加した。
- ③上記技術の導入により、播種、育苗、移植作業で約31%の労働時間が削減された。

農業者からは「ハウス内の最適なCO₂濃度は？」
「平取版緑肥の栽培暦を作って欲しい」等の質問や、次年度計画に対する要望が寄せられました。
活動への関心の高さだけでなく、普及センターに対する期待度の高さも伺い知ることができました。
また2月の懇談会では、令和5年度の普及活動計画を農業者と共有し、合意形成を図りました。
令和5年度も、トマトの収量向上や水稲の作業省力化という地域の課題解決に向けて邁進します!!



令和4年12月に開催した重点懇談会

様似町の西川雄喜さん 全国青年農業者会議で 「農林水産大臣賞」受賞！【広域班】



全国各地から選抜された青年農業者が、意見や課題解決の成果を発表する「第61回全国青年農業者会議」が、令和5年3月2～3日に東京都で開催されました。
「豚と取り組むSDGs」と題して、持続可能な養豚への思いを発表した西川さんが、最優秀賞にあたる農林水産大臣賞を受賞しました！今後の活躍が期待されます。



受賞した西川雄喜さん（左：様似町）
全国4H連協副会長の水野弘樹さん（右：平取町4HC）

新北海道指導農業士・北海道農業士紹介 【広域班】

2月9日札幌市で北海道指導農業士・北海道農業士の称号贈呈式が行われ、日高管内からは指導農業士に新ひだか町の藤村英治氏、農業士に新冠町の佐藤翔太氏が認定されました。

藤村氏、佐藤氏とも「離農戸数の増加で担い手不足が深刻化してきている中、農業や農村生活の魅力を高め、新規就農者の経営確立など、担い手の育成・確保の取組みに積極的に貢献したい。」と抱負を述べていました。

今後は管内、全道の指導農業士・農業士の皆さんとともに、農業振興や新規就農者・青年農業者の育成に尽力されることを期待しています。



指導農業士
藤村英治氏
(新ひだか町)



農業士
佐藤翔太氏
(新冠町)



未来ひだか最終号。ご愛読ありがとうございました！

2005年より発行してきました普及センターだより「未来ひだか」は、今回が最終号となります。今後はホームページを充実し、よりタイムリーな情報提供を行っていきます。普及センターからの情報は、ホームページをご覧ください！

普及センターのホームページは、次の3つの目的で作成しています

1. 地域振興・農業経営に有効な情報の提供
2. 魅力ある地域や農業の情報を発信
3. 普及活動のPR


定期的な技術情報、農業者組織の活動、普及センターの地域での活動など、随時掲載しています。ご要望等ありましたら、お近くの普及職員にお伝えください！

このQR
コードを
使ってね




令和5年4月1日付けで職員の異動がありました

〈 よろしくお願ひします 〉



本所 次長
玉井 雅浩
はじめての日高勤務です。日高の農業振興に微力ですが貢献出来るように頑張ります。




本所 主任普及指導員
藤田 善紀
道東の別海町より赴任しました。日高の特性を生かした地域振興に貢献できればと思います。



本所 地域第二係長
小澤 徹
羊蹄山の麓、後志農業改良普及センターから参りました。よろしくお願いします。



本所 主査（地域支援）
柿崎 由紀
東胆振より赴任しました。専門は園芸と演芸（歌唱と絵描き）です。今後ともよろしくお願いします。



本所 主査（担い手）
山田 美由喜
十勝の足寄町からまいりました山田です。お世話になります。今後ともよろしくお願いします！



本所 普及職員
山崎 彩香
新しく採用となりました。至らぬところもありますが精一杯頑張ります。よろしくお願いします。



西部支所 専門普及指導員
樫 文佳
釧路管内の標茶町から異動してきました。専門は畜産です。よろしくお願いします。

〈 お世話になりました 〉

本 所			本 所		
役 職	氏 名	転 出 先	役 職	氏 名	転 出 先
次長	森 久夫	後志 本所	主査（担い手）	脇坂 裕二	宗谷 宗谷北部支所
主任普及指導員	石岡 康彦	農業研究本部駐在	普及指導員	菊地 聖崇	退職
地域第二係長	浦上 涉	網走 遠軽支所	西部支所		
主査（地域支援）	千田 智子	網走 本所	専門普及指導員	富樫 麻衣	空知 本所

日高農業改良普及センター本所 TEL 0146-42-1489 FAX 0146-42-2521
〒056-0005 日高郡新ひだか町静内こうせい町2丁目2番10号
日高農業改良普及センター日高西部支所 TEL 01457-2-2055 FAX 01457-2-2918
〒055-0107 沙流郡平取町本町105-6
日高農業改良普及センターホームページアドレス <http://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/>